助川山保全くらぶ
第１５０号
（平成 10 年 11 月 28 日創刊）

助川山保全くらぶ

http://www.net1.jway.ne.jp/zg6y-hri/

令和６年１月１日
会　長 岡田　譲
編集者 鈴木 睦男
TEL. 36-6538

保全活動を楽しく＊＊会長新年のご挨拶＊＊

★新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には元気で新しい年をお迎えの事と思います。新型コロナ感染症の騒ぎも５類移行になりましたが、まだ油断はできません。

★令和 5 年度は、例年を上回る気温が続き厳しい環境下の保全作業となりましたが、皆様の工夫や努力があり、無事故で終える事が出来ました。
更に、日立市の里親制度発足以来 25 年間の功績に対し市長より感謝状を戴きました。しかし台風 13 号により市民の森内のひねり沢は濁流による甚大な被害が発生、現在立入禁止状態となっています。

★近年では助川山を訪れる人が増え、県外からも多くの人が来ます。海が見える山として好評の様です。
これらの訪問者の期待に応えるべく、安全で美しい、国蝶も訪れる山を守りたいと考えます。

★銀行に預けているお金は使えば減るが、筋肉は高齢化しても、使えば使うほど増えると言われます。楽しく安全な助川山の保全作業を通じて、筋肉量を増やそうではありませんか。
本年も会員の皆様の御多幸とご健康をお祈りし、新年の挨拶といたします。

植樹地保全・園内整備作業

保全項目	実施日	作　業　内　容	作業の様子
植樹地保全作業（林床整備間伐作業）	11 月 2 日 11 月 9 日 11 月 16 日 （野草）	・くぬぎ広場西側の管理道路から頂上が見られるよう支障となる樹木や移植場所などの不要樹木を整理した。 ・尾根領域の林床整備として、ヤシャブシ林に生えているスギ、ヒノキなどの整理と階段脇の枯れ松も処理した。 ・１６日は、苗移植時に設置した竹を新しいのに更新した。	
	11 月 28 日 （景観）	・６月初めに続き、石の池周囲の２回目の除草作業を実施。天気が良く、参加人数も１２名と多かったので予定通りの除草作業が出来た。 ・石の池の北側とカシの大木背後には植樹を予定しており，他に北側下段の斜面にはミズナラの移植を予定している。	
	12 月 5 日 （定例）	・ネイチャーセンター前「やまぐりの丘」林床の除草作業を実施し、来園者の最初に目にする林の整備を行った。 ・「やまぐりの丘」林床には、ヤマツツジ、コアジサイなどの低木をバランス良く育成し、間伐も適度に実施したい。	
園内整備作業	11 月 14 日 （景観）	・堂平ルートの除草作業実施。５月、６月の除草作業後に雑草が繁茂したのでまた除草作業を実施した。 ・参加者 12 名で最近では最多でもあり、当初予定の野鳥の池より先、解説板２迄を１回で作業を終了した。	
	11 月 30 日 （野草）	・自然観察Ｔｒの堂平団地からの遊歩道との交差点までの除草作業と道路沿えの雑木の処理を実施した。 ・２年程このルートの点検、保守作業を実施しなかった結果歩道もかなり雑草が繁茂していた。 道路沿えの倒木も処理、また解説板の清掃も実施した。	

ブナの紅葉が素晴らしい

★くぬぎ広場の北側、東屋両側の林に「ブナ」が約 150 本が生育中である。ブナはほぼ全国に分布する落葉広葉樹高木だが成長が遅く、花が咲き実が付くのに 30 年以上かかる程長寿命と云う。

★助川山の「助中植樹地」と「クヌギ広場」のブナは、１１月中旬過ぎに紅葉する。何れもブナの周りの樹木の半分位の樹高だが、オレンジ色に紅葉して大変鮮やかだ。

★今年は天気の良い日にくぬぎ広場の平地に面したブナ数本の紅葉が目立ち楽しめたが今後も期待大だ。

「助中」紅葉ブナ

「ｸﾇｷﾞ広場」紅葉ブナ

林業探検少年団間伐体験

★１２月１０日(日)林業探検少年団の間伐体験をおむすび池手前、ﾊﾞｲﾊﾟｽ付近の植樹地で実施。

★約 10cm 径の樹木を１人５本程伐採した。
その後、水辺観察舎でクリスマスリース作りを楽しんだ。

間伐作業の様子

「忘年会」開催

★平成５年の［保全くらぶ」忘年会は 12 月 17 日(日)に青葉台の集会所で開催された。

★現在、くらぶ員数２７名のうち２０名出席で、コロナ明け久し振りに賑やかな忘年会となった。

祝 ★★ 木幡さん『森林インストラクター』合格！★★

★この度、木幡さんから**「森林インストラクター」**の令和５年の試験に合格された旨の連絡を戴き、合格率30%弱の難関を一発で突破の快挙でした。

★木幡さんからは、１２月１５日に試験の結果報告があるように伺っていましたが、１８日に主催元のホームページに発表があり、それで合格が判明したとの連絡がありました。

★「森林インストラクター」の役割は人々に人間と森の関わり、植生、四季の野草や鳥などを分かり易く説明をする**「森の案内人」**と云うことで木幡さんには、新しい視点での活躍が期待されます。

★助川山保全くらぶも平成１０年に発足以来、令和６年には設立２６年目を迎えますが、活動の跡を振り返ると、この森林インストラクターが目指す方向とほぼ同じような活動をして来たように思われます。

★これからも、今まで実施して来た活動を踏襲しながら、**「森林インストラクター」の視点**も合わせ、木幡さんの助言も戴きながら活動を継続したいもの。

★ひねり沢の修復が待たれるが、それ迄は植樹林の間伐、枝落としと林床整備を中心に保全活動を進めることになりそうで、気分も新たに取り組みたい。

季節の花便り・・野草班

☆季節の野草便り

リンドウが咲く季節だが、助川山では年々見かける場所が変わる。今年はどんぐりの森から少し石の池に向かう途中で２株花が咲いていた。

☆季節の樹木便り

やまぐりの丘でヤブコウジが真っ赤な実を付けていた。ヤブコウジは野草ではなく小低木です。

担当：（鈴木）

パトロールだより

◆９月の台風13号の影響でひねり沢等の被害が大きいトレールを侵入禁止とし、管理道路のみを通行可としているが、必ずしも遵守されておらず沢に入る来園者も見られる為、パトロール時に見かけた場合は注意し、事故防止の為侵入禁止を周知願いたい。

◆昨年８月にひよどり越えのミズナラがナラ枯れの被害を受け、伐採、燻製処理をした。その後被害の広がりは無かったが、年末に助川山入口のカシがナラ枯れの可能性があることが判明した。現在、市役所と共に確認中。

◆同様の被害が他の樹木に及んでいないか、また枯損木の倒壊がないかなどパトロール時には十分注意して見て戴きたい。

担当：（梶川）

令和４年度のパトロール計画と実施日数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
計画	3	4	3	3	1	2	2	3	3			
実施	**3**	**2**	**2**	**3**	**1**	**2**	**1**	**3**	**3**			
中止	0	2	1	0	0	0	1	0	0			

おむすび池

「ブナ」について

★助川山には助中植樹地とくぬぎ広場の東屋周囲にブナが植樹されている。何れも「市民の森」発足以前に植えられたようだが同時に植えられたコナラやクヌギの半分以下の樹高で周りの樹木に囲まれ窮屈な印象を受ける。

★ブナはブナ科の落葉高木で樹皮がやや白い事からシロブナとも呼ばれ、生育地としては東北の白神山地が有名で世界遺産にもなっているが全国にも分布しているようだ。

★一方ブナは成長すると３０ｍにもなると云う。クヌギやコナラに比べ成長が遅いようで助川山のブナは植えてから３０年近くなると思われるが４、５ｍ程度で、周りの樹木に囲まれ成長が遅い。

★今後はブナの周りの樹木を少し整理し、現状より環境を改善して行きたいものだ。（睦）

新緑のブナ
（助中植樹地）

くらぶ内外の話題

◆「木の日本酒」

ＮＨＫ朝の番組で樹木で日本酒を作る話を紹介していた。国立研究開発法人の「森林総合研究所」が木から日本酒を作る研究をしていて、近く製品化が実現するようです。

◆この技術は、木を発酵させて香の良いアルコールを造り、日本酒を造る技術で世界初と云うことです。樹木としては、ミズナラ、スギやシラカバなどでそれぞれの特徴ある香りを生かした日本酒で数年以内には実用化するとのこと。

編集後記

◆助川山の植樹地は急斜面が多いので道具を所持しながらの移動も大変で、特に作業の後、高齢者は道具を携行しながらの斜面の登りは大変だ。

◆筆者も「ひよどり越え」の除草作業後時に管理道路まで戻る途中、蔓が足に絡まり仰向けに転倒し、腰をぶち病院に通った。転倒や道具での怪我には要注意。